

財政健全化

総 額 142億



元気に通学 一年生

自然・文化を生かし地域が輝く町を目指して

平成19年度

施政方針

(要旨抜粋)



橋本光記 町長

急激な人口減少や少子高齢化、三位一体の改革による社会構造の変化を捉え、自立する地域コミュニティの創造を目指し、持続可能な将来展望のあるまちづくりの仕組みを作り上げていかなければなりません。地域コミュニティを再評価しながら町民と行政が互いに協力し合う協働による新たな枠組みでのまちづくりを確立するとともに自然や環境、文化などの地域資源を連携させて、交流を推進していきます。

「第四次白鷹町総合計画」の仕上げとして「自然・文化を生かし地域が輝く町」を目指し、若者定住、子育て支援、地域セーフティネットの構築、産業の振興、次世代に引き継ぐ環境・文化の創造、交流の促進を町民のみなさまと協働で展開するものです。平成19年度を財政健全化第二期の初年度と位置づけ、自立した町政運営の確立のため引き続き行財政改革に取り組んでまいります。

総括質疑

●町民負担増でセーフティネットは大丈夫か 佐竹典明 議員

佐竹 高齢者の負担増が続くなか、快適で安心な「白鷹町セーフティネット」のため財政支援が必要ではないですか。

町長 総合的な視点で「住みよい白鷹づくりプロジェクト」をすすめます。限られた財源のなかで制度上の可能な限りの対応をはかります。

佐竹 県と新荒砥橋の調査を行うとあります。過去には調査後に頓挫した計画もあったが、今後の見通しはどうですか。

町長 県に要望してきたもので基本的な調査に入ります。町民の盛り上げのなかで必要性を訴え全力で頑張ります。

●行財政改革の影響は

佐藤誠七 議員

佐藤 行財政改革の成果をどう反映していますか。内部組織の改革が拙速すぎて影響があるのではないですか。

町長 人件費の大幅減や内部組織の簡素化、協働のまちづくりなど成果がでていきます。組織や事務事業の点検に細心の注意を払い、柔軟で効果があるようにしていきます。

佐藤 子育て支援住宅は民間アパートに影響はないですか。別の形での子育て支援の考えはないですか。

町長 子育て支援として多くの家族に住んでもらいたい。入居条件等を検討し要綱を作って民間を圧迫しないようにしていきます。

●協働のまちづくりの理解を深めて

衣袋捷二 議員

衣袋 協働のまちづくりには相互理解が必要としてきましたが、もっと職員と合意形成し、町民に接するべきではないですか。

町長 協働のまちづくりは、本来の農村にあった助け合い精神のあり方です。職員と一緒に知恵を出し合いいいまちづくりをすすめます。

衣袋 合併新法が始まり優遇措置がなくなり、財政も不利な方向になっていきます。自立には心構えが必要です。町民と議論して方向づけすべきではないですか。

町長 優遇措置がないのが本当の姿。町民がより良いと感じることが合併の視点です。互いに議論することが大事です。